

取付説明書

このたびは当社製品をお買い上げ頂きまして、ありがとうございます。
本製品を取付け及び取扱う上で、いくつかの注意点がございます。

安全かつ快適にご使用になっていただくため、

取付け作業前に必ず本書を熟読し、部品を確認し理解した上で作業して下さい。

☆部品が間違っていたり取付け方法が分からない場合は、ご遠慮なく速やかにご連絡ください。

☆販売店様へのお願い……この取付説明書は、必ずお客様にお渡しください。

取付け及び取扱いについて



危険

- エンジンは、エンジン運転時や停止直後は常に高温になります。エンジン付近の取付け作業やボルトの増し締め作業は、エンジンが十分冷めていることを確認の上、作業を行なってください。
- 素手での作業は怪我の原因となります。必ず革手袋等で保護し、十分注意をして作業を行なってください。
- 取付けが不完全ですと、外れて脱落する恐れがあり大変危険です。取付けは確実に行ってください。さらに取付け後は、定期的に各ボルト類が緩んでいないか点検を行なって下さい。ボルト類が緩んだまま走行を続けると、外れて脱落する恐れがあり大変危険です。また、製品本体や車体に対し損傷を与える原因にもなります。もし、ボルト類が緩んでいた場合は増し締めを行なって下さい。
- 本製品や取付部などにキレツ等が見つければ、すぐに使用を中止して下さい。



注意

- 海水や道路凍結防止剤等、金属を強く腐食させる成分が付着した場合は、早めに水洗いをするなどお手入れをして下さい。
- サビ等に関するクレームはお受けできませんのでご了承下さい。

本製品の構成部品について

●取付説明書	×1	●No. 10 エルボホース 90° φ48	×1
●サクションパイプ A	×1	●No. 9 エルボホース 45° φ48	×1
●サクションパイプ B	×1	●No. 6 異径ホース φ48-41	×1
		●ホースバンド 28 (異径ホースのタービン側用)	×1
		●ホースバンド 32	×5

部品図



※エルボホースは必ずカットして長さを調整して下さい。
また、タニグチのオイルセパレータ-タンクを後から付ける場合、カットする長さが変わりますのでご注意ください。
(ホースのみの単品追加注文可能。)

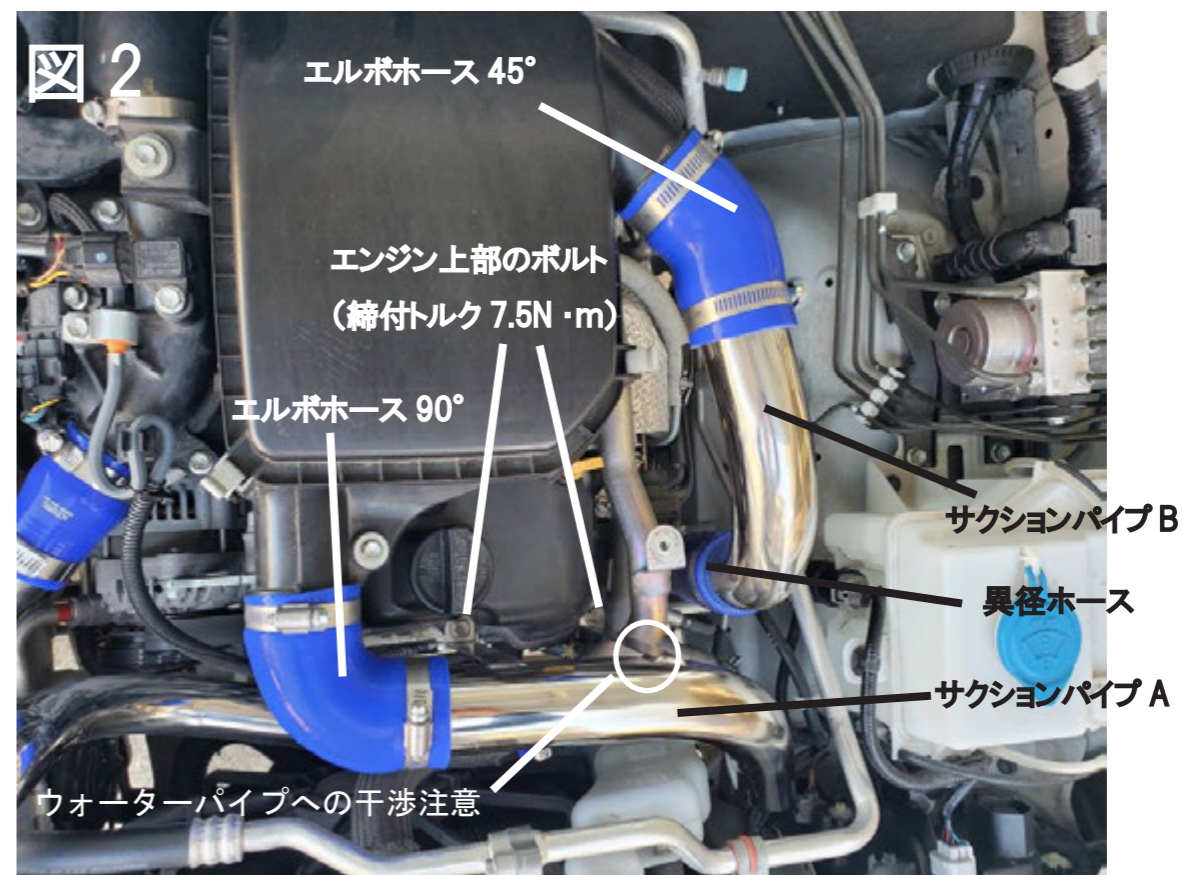
本製品の取付手順について

- 1 純正サクションパイプ、サクションホースの取り外し
 - 1-1 ①のボルトを外し、サクションパイプを取り外して下さい。
 - 1-2 ②のホースバンドを緩めてサクションホースを取り外して下さい。
 ※タービン内部に異物が入らないように注意して下さい。



- 2 サクションパイプ A とサクションパイプ B の取り付け。
※ホースの内径サイズはキツメになっていますので、入りにくい場合はシリコンスプレー等を使用して下さい。

- 2-1 図 2 を参考にサクションパイプ A と B を仮組みし、(※サクションパイプ B の向きに注意※部品図参照) 各エルボホースをあてがい、カット量を確認し、適度な長さにカットして下さい。
- 2-2 サクションパイプ A とエルボホース 90° とホースバンド 32 を仮組みし、図 2 のエンジン上部のボルトを使って取り付けして下さい。
- 2-3 サクションパイプ B にエルボホース 45° と異径ホースとホースバンド 32、ホースバンド 28 を仮組みしてから図 2 を参考に取り付けして下さい。



- 3 仮止めが出来たら、バランスを見て本締めして下さい。

※ホースバンドのボルトはあまり締め過ぎないように注意して下さい。(取付トルク 1.0N・m)